

少数台数のリコール届出の公表について (令和3年9月分)
------------------------------

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和3年9月は16件の届出がありましたので公表します。

## 1. 届出者：Groupe PSA Japan 株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月2日	外 3278	車名：シトロエン 型式：5BA-B6HN05 他 通称名：C3	8	令和2年6月22日～ 令和3年5月3日
不具合の部位等	フロントサスペンションにおいて、ロアアームボールジョイント組付け工程の管理が不適切なため、ロアアームボールジョイントのボルトが適切に締め付けられていないものがある。そのため、使用過程において当該ボルトが脱落し、走行安定性が損なわれ、最悪の場合、ハンドル操作が困難となるおそれがある。			

## 2. 届出者：ドゥカティジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月7日	外 3268	車名：ドゥカティ 型式：2BL-1A00 通称名：マルチストラダ V4 S	16	令和2年12月21日～ 令和3年3月5日
不具合の部位等	エンジンヘッドのバルブガイドが不適切なため、過度の摩耗が生じるものがある。そのため、異音が発生し、そのままの状態で使用を続けると、バルブヘッドが破損することで、エンジン性能が低下し、最悪の場合、期待する加速力が得られなくなることで転倒するおそれがある。			

3. 届出者：日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月9日	5007	車名：ニッサン 型式：CBA-KS2E26 他 通称名：NV350 キャラバン	15	平成31年3月20日～ 令和2年6月16日
不具合の部位等	前照灯において、車両生産工場の光軸検査設備内で通信不良が発生したことにより、光軸の設定値が不適切な状態で検査、調整を行ったため、光軸が保安基準を満足していないおそれがある。			

4. 届出者：リープヘル・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
9月10日	外 3266	車名：リープヘル 型式：不明 通称名：LTM1075NX	4	令和2年10月13日～ 令和3年1月13日
不具合の部位等	最高速度制限の設定が不適切なため、最高速度以上での走行ができるよう変更が可能となっている。50km/hを超える速度で走行した場合、クレーン車の第一軸の荷重重量がタイヤ許容荷重を超えるため、過負荷状態となり、最悪の場合、タイヤがバーストし、走行ができなくなるおそれがある。			

5. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月16日	5015	車名：三菱 型式：2RG-FBA60 他 通称名：ふそうキャンター	87	令和3年4月20日～ 令和3年5月25日
不具合の部位等	小型トラックにおいて、原動機の生産作業工程が不適切なため、燃料リターンホースがオイルフィルターとオイルレベルゲージガイド間に挟み込まれてつぶれているものがある。そのため、燃料リターンホースが外れて燃料が漏れ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

6. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
9月17日	外 3289	車名：フォルクスワーゲン 型式：3BA-3HDNUF 他 通称名：アリアン 2.0/200kW 他	87	令和3年6月18日～ 令和3年7月14日
不具合の部位等	ブレーキサーボコネクティングロッドにおいて、製造時の組付指示が不適切なため、接続部の締付けトルクが不十分なものがある。そのため、ボルトが完全に緩み、最悪の場合、ブレーキサーボコネクティングロッド先端のボルト接続部が脱落することでブレーキが効かなくなるおそれがある。			

7. 届出者：アウディジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月22日	外 3279	車名：アウディ 型式：ZAA-GEEAS 他 通称名：アウディ e-tron 他	22	令和2年8月14日～ 令和3年1月20日
不具合の部位等	ブレーキプレッシャーユニットにおいて、製造工程管理が不適切なため、ユニット内の溶接加工が不十分で、溶接部分が破損するものがある。そのため、ブレーキアシストが失われるとともに、急ブレーキ時にアンチロックブレーキシステム（ABS）およびエレクトロニックスタビリゼーションコントロール（ESC）が機能せず、最悪の場合、車両の制動距離が長くなるおそれがある。			

8. 届出者：ヤマハ発動機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
9月22日	5017	車名：ヤマハ 型式：2BL-RH16J 通称名：SR400	81	令和3年7月5日～ 令和3年7月6日
不具合の部位等	速度計において、前輪にあるギヤユニットと速度伝達用ケーブルとの接続ナットの締め付けが不適切なものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、接続ナットが緩んで当該ケーブルが外れ、速度計と走行距離計が作動しなくなるおそれがある。			

9. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
9月28日	5020	車名：三菱 型式：TPG-FEB80 改 通称名：ふそうキャンター	10	令和2年7月31日～ 令和2年11月18日
不具合の部位等	電気自動車の小型トラックにおいて、車両接近通報装置のプログラムが不適切なため、走行時に車両接近音が鳴らない場合や、バッテリー上がりが生じてEV システムが起動出来ず、EV システム警告灯が点灯する場合があります、その結果、車両を走行させることが出来なくなるおそれがある。			

10. 届出者：ポルシェジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月28日	外 3294	車名：ポルシェ 型式：3BA-992L30 通称名：911 Carrera S 他	6	令和元年9月6日～ 令和2年3月19日
不具合の部位等	ブレーキブースタにおいて、プレッシャインプットロッドの製造時の組付指示が不適切なため、接続部の締付けトルクが不十分なものがある。そのため、当該ロッドねじ部が完全に緩み、最悪の場合、プレッシャインプットロッド先端のボルト接続部が脱落することでブレーキが効かなくなるおそれがある。			

11. 届出者：ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 日
9月28日	外 3283	車名：ランドローバー 型式：7AA-LW3UD 通称名：レンジローバースポーツ	1	令和2年12月21日
不具合の部位等	原動機において、電動スーパーチャージャー回路基板の製造が不適切なため、電子部品と配線の距離が少ないものがある。そのため、走行振動等により電子部品と配線が短絡し、インストルメントパネル上の警告灯（M I L）が点灯することがある。			

12. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月29日	外 3287	車名：メルセデス・ベンツ 型式：3DA-463349 他 通称名：G350d 他	77	令和2年10月3日～ 令和2年11月3日
不具合の部位等	ドアに搭載されている側面衝突センサにおいて、コネクタの製造管理が不適切なため、走行時の振動等によりコネクタの接続が緩むことがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、電気的な接続が断たれることで警告灯が点灯する。又は、緩んだ状態で側面衝突を受けると衝撃によりコネクタが外れて電気的な接続が断たれ、最悪の場合、乗員補助拘束装置（サイドエアバック等）の作動が遅れて乗員が負傷するおそれがある。			

13. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月29日	外 3288	車名：メルセデス・ベンツ 型式：5AA-223163 通称名：S500 4MATIC	10	令和3年1月11日～ 令和3年2月15日
不具合の部位等	助手席足元にあるプレフューズボックス内の配線において、製造時の組み付けが不適切なため、端子の固定ナットが適切な締付けトルクで取付けられていないものがある。そのため、走行中の振動等により導通不良が発生し、増加した電気接触抵抗により発熱して、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

14. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月29日	外 3292	車名：メルセデス・ベンツ 型式：3DA-223033 通称名：S400d 4MATIC	9	令和3年1月5日～ 令和3年2月12日
不具合の部位等	電源配線を接続している床下の中継接続部の端子固定ナットにおいて、製造時の組み付けが不適切なため、走行時の振動等により緩むことがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、電気的な接続が断たれることで警告灯が点灯し、エンジンが始動せず、走行不能になることがある。または、電気的な接触抵抗が増加し発熱して、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

15. 届出者：Groupe PSA Japan 日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月29日	外 3293	車名：シトロエン 型式：5BA-B6HN05 他 通称名：C3 他	58	令和3年2月28日～ 令和3年5月3日
不具合の部位等	トルクコンバーターにおいて、製造工程で使用する試験機のメンテナンスが不適切なため、トルクコンバーターの試験中にオイルシールが損傷し、その状態のまま車両に組み付けられたものがある。そのため、使用過程中にオイル漏れが発生し、クラッチがスリップすることで、警告灯点灯、メーター内のメッセージ表示、及び変速不良が発生し、加速不良となるおそれがある。			

16. 届出者：アウディジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 日
9月29日	外 3295	車名：アウディ 型式：3AA-GYDLA 通称名：アウディ A3 30T	1	令和3年5月20日
不具合の部位等	ブレーキサーボコネクティングロッドにおいて、製造時の組付指示が不適切なため、接続部の締付けトルクが不十分なものがある。そのため、ボルトが完全に緩み、最悪の場合、ブレーキサーボコネクティングロッド先端のボルト接続部が脱落することでブレーキが効かなくなるおそれがある。			

【参考】

●令和3年9月のリコール届出件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	19 (+11)	15 (+8)	4 (+3)
輸入車	23 (+11)	11 (+5)	12 (+6)
計	42 (+22)	26 (+13)	16 (+9)

※ ( ) 内は、対前年度同月比

●令和3年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	22(+5)	14(-5)	36(±0)	466,015(+255,955)	15,775(-100,519)	481,790(+155,436)
5	16(+5)	6(-5)	22(±0)	634,491(+553,616)	29,239(+15,312)	663,730(+568,928)
6	22(+6)	21(+10)	43(+16)	1,337,768(-654,056)	6,813(-2,725)	1,344,581(-656,781)
7	12(-8)	21(+6)	33(-2)	238,458(+55,201)	81,554(+10,756)	320,012(+65,957)
8	6(-5)	13(-5)	19(-10)	14,231(-129,864)	29,590(-8,297)	43,821(-138,161)
9	19(+11)	23(+11)	42(+22)	175,153(-378,485)	9,020(-43,711)	184,173(-422,196)
小計	97(+14)	98(+12)	195(+26)	2,866,116(-297,633)	171,991(-129,184)	3,038,107(-426,817)

※ ( ) 内は、対前年度同月比

(問い合わせ先)

国土交通省自動車局審査・リコール課 リコール監理室 溝手・伊藤 電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42361)
---